

航空自衛隊千歳基地における訓練移転概要

訓練移転の経緯

●再編の実施のための日米ロードマップ（平成18年5月1日）に基づき、二国間の相互運用性の向上と在日米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響を軽減するため、平成18年度以降、米軍の嘉手納、三沢及び岩国飛行場から自衛隊の千歳、三沢、百里、小松、築城及び新田原基地への航空機の訓練移転を実施

●また、平成22年5月の「2+2」共同発表において、両政府は、二国間及び単独の訓練を含め、米軍の沖縄県外への移転を拡充すること、及びグアム等日本国外への訓練の移転を検討することの決意を表明し、平成23年1月及び10月の合同委員会において、嘉手納における更なる騒音軽減を図るため、移転先として新たにグアム等を追加等することを日米間で合意



千歳基地における訓練実績

回数	平成19年度 (1回目)	平成20年度 (2回目)	平成21年度 (3回目)	平成22年度 (4回目)	平成24年度 (5回目)	平成25年度 (6回目)	平成27年度 (7回目)	平成28年度 (8回目)	平成30年度 (9回目)	令和2年度 (10回目)	令和3年度 (11回目)
訓練期間	平成20年2月25日～28日	平成20年12月8日～12日	平成21年4月20日～23日	平成22年11月8日～19日	平成24年9月5日～7日	平成25年7月8日～12日	平成28年1月12日～22日	平成28年12月5日～16日	平成30年4月23日～27日	令和2年8月24日～28日	令和3年9月13日～22日
米側	米海兵隊第12飛行大隊(岩国)	米空軍第18航空団(嘉手納)	米海兵隊第12飛行大隊(岩国)	米空軍第18航空団(嘉手納)	米海兵隊第12海兵航空群(岩国)	米空軍第35戦闘航空団(三沢)	米海兵隊第12海兵航空群(岩国)	米海兵隊第12海兵航空群(岩国)	米空軍第35戦闘航空団(三沢)	米空軍第18航空団(嘉手納) 米空軍第35戦闘航空団(三沢)	米空軍第18航空団(嘉手納)
日本側	第2航空団 北部航空管制団	第2航空団 北部航空警戒管制団	第2航空団 北部航空管制団	第2航空団 第3航空団 北部航空警戒管制団	第2航空団 北部航空管制団	第2航空団 北部航空管制団	第2航空団 北部航空管制団	第2航空団 北部航空管制団	第2航空団 北部航空管制団	第2航空団 第1輸送航空隊 第2輸送航空隊 第3輸送航空隊	第2航空団 航空救難団
訓練規模	【米軍】FA-18×4機 【空自】F-15×4機	【米軍】F-15×5機 【空自】F-15×6機	【米軍】FA-18×5機 【空自】F-15×5機	【米軍】F-15×12機 【空自】F-15×8機 F-2×6機	【米軍】FA-18×4機 【空自】F-15×8機	【米軍】F-16×6機 【空自】F-15×8機	【米軍】FA-18×5機 【空自】F-15×8機 E-2C×1機	【米軍】AV-8×4機 【空自】F-15×4機	【米軍】F-16×6機 【空自】F-15×4機	【米軍】F-15×6機 F-16×6機 【空自】F-15×8機 C-1×1機 C-2×1機 C-130×1機	【米軍】F-15×12機 E-3C×1機 【空自】F-15×12機 U-125×1機 UH-60J×1機

※【タイプ I】1回につき1～5機の米軍機が1～7日間参加する訓練 【タイプ II】1回につき6～12機の米軍機が8～14日間参加する訓練